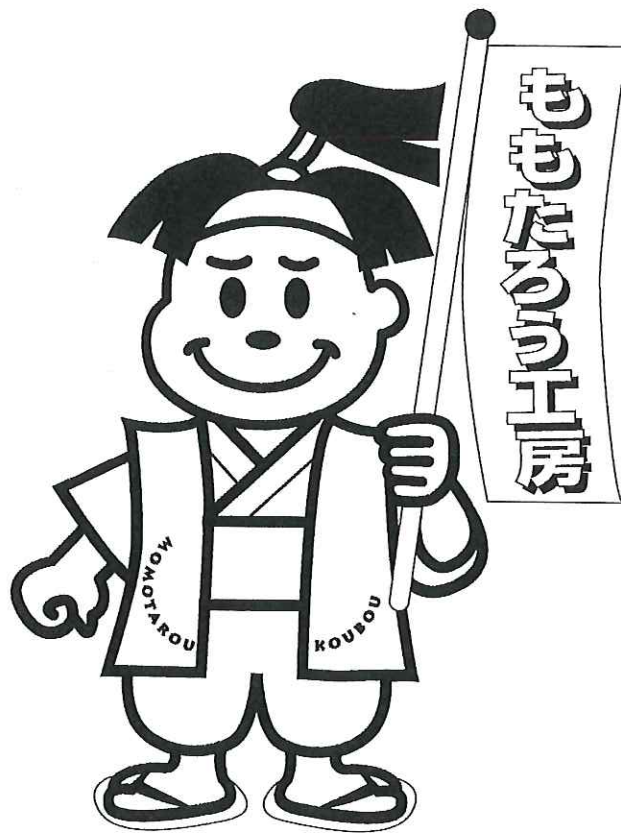


平成28年度

事業報告書



社会福祉法人

大洲育成園

平成 28 年度 事業報告

施設長 東谷弘子

1. 事業環境

4月に発生した熊本地震は人的被害や施設の崩壊等の甚大な被害をもたらし、7月には、社会を震撼させた神奈川県障害者支援施設「津久井やまゆり園」で入所者19人が殺傷された事件が発生しました。施設入所者の安全管理について再確認と徹底により万全を期するよう、日頃からの設備整備・点検・職員研修など必要な取組みに努め、防災及び防犯体制の強化を図ることとなりました。

平成28年4月には、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、何人も、障害者に対して、障害を理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならないことや、社会的障壁の除去を怠ることによる権利侵害の防止等が定められています。障害者虐待防止においても、共生社会の実現及び権利擁護の考え方を共有して、障害者の尊厳を守ることが重要です。

社会保障審議会による障害者総合支援法施行3年後の見直し事項に「障害者の意思決定支援の在り方」が挙げられ、「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が厚生労働省にて作成され、障害者の意思決定の支援をより一層適切に行うように周知がありました。

2. サービスの充実と向上

愛媛県指定の障害者支援施設は11月に南予地方局による行政指導監査の現地指導があり、指摘事項については適正に改めました。また、1月には大洲市による法人指導監査を受け、経理規程の基づいた事務処理の不適切の指導があり2月から改善いたしました。3月に愛媛県の委託事業である障害児者療育支援事業の現地指導があり、積極的な働きかけで療育支援の充実を図るよう継続して取り組むよう指導がありました。

法人役職員の研修として、7月に松山市で開催された「第27回中国四国地区社会福祉法人経営者セミナー」に13名が出席し、改正社会福祉法等について研修を受けました。また、2月には社会福祉法人監事監査研修会があり法人監事と職員の3名が出席しました。

外部研修へは、みらいの福祉を担う者を対象とした「みらい福祉塾」に1名が、知的障害援助専門員養成講座に2名が受講するなど積極的な参加をして福祉人材の育成を図りました。

施設内研修では、新任職員対象に障害や介護技術の基礎研修を実施し、全職員対象では感染症対策、虐待防止、権利擁護等の研修を実施しました。

3. 人材の確保（職員数）

職種	施設長	サービス管理責任	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導	指導員	相談支援専門員	看護師	機能訓練指導員	管理栄養士	調理員	書記	医師	その他の雇用員	計
平成 28 年 4 月 1 日現在	1	3	32	1	1	2	2	1	1	1	7	3	0	0	55
減員（退職）															0
増員（採用）			1												1
3 月 31 日	1	3	33	1	1	2	2	1	1	1	7	3	0	0	56

福祉職員として専門性を高めるために自己研鑽し、介護福祉士の資格を取得した者に対して、特別昇給（4名）賃金増（2名）また臨時職員から正職員登用（3名）へと処遇を行いました。

福祉介護職員処遇改善加算費を取得し自己資金と合わせて、福祉職員処遇改善手当を一時金として全職員均一に支払い給与の増額といたしました。

4. 施設整備の保全

利用者の快適な生活設備のため、各フロアの洗面所と食堂前の手洗い場を車いす等の利用者が使用しやすく改修を行いました。洗面台下の扉を除け、洗面台を入替、シャワーホースと収納棚を新たに取り付けました。また、洗面所と談話コーナーとの壁の一部を壊しオープンな空間としました。

以前から利用者のプライバシー保護のために課題となっておりましたトイレのカーテンを鍵付きのドアへと付替えを合わせて行いました。

しこく福祉互助会の助成金により車椅子対応の軽自動車を1台整備しました。これにより車いす対応の自動車が3台になり、通院等の支援がスムーズに行われることとなりました。

防犯監視システム設備については、翌年度に整備することといたしました。

障害者支援施設大洲育成園

平成 29 年 3 月 31 日現在

1. 利用者状況

(1) 年齢構成 平均年齢 60.6 歳

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	計
男	1	2	4	10	23	3	0	43
女	0	1	0	9	26	3	1	40
計	1	2	4	19	49	6	1	83

最低齢 23 歳 最高齢 82 歳 65 歳以上 24 名

(2) 障害支援区分

区分	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	計	平均
施設入所	20	31	17	13	2	83	4.65
生活介護	22	28	11	4	0	65	5.04
就労 B 型	0	1	7	10	2	20	3.35

(3) 在籍状況（施設入所） 平均 34 年

在籍年数	0～9	10～19	20～29	30～39	40～	計
人数	8	10	1	24	40	83

(4) 行政機関

大洲市	八幡浜	宇和島	西予市	松山市	伊予市	内子町	伊方町	愛南町	松前町	計
27	10	9	9	6	1	12	4	3	2	83

2. 利用実績

【施設入所】 定員 86 名 退所者 3 名（死亡 1 名、医療機関 2 名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	86	86	85	85	84	84	84	84	84	84	83	83
延数	2568	2636	2485	2554	2508	2484	2526	2526	2497	2484	2307	2563

【生活介護】 定員 75 名 開所日数 242 日 1 日当り 65.1 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	68	68	67	67	66	66	66	66	65	65	65	65
延数	1358	1281	1440	1298	1412	1300	1272	1272	1213	1211	1288	1426

【継続 B 型】 定員 20 名 開所日数 258 日 1 日当り 18.9 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
延数	397	377	422	391	422	399	393	393	364	379	400	441

施設入所支援

主任指導員 池田 隆三

施設入所者への睡眠、排せつ及び食事等の支援により個々に必要な生活習慣が確立され快適な生活を送ることができるよう、また社会生活への適応性を維持できるよう、様々な機会を通して支援を行った。

施設入所者の解決すべき課題に合わせ、サービス管理責任者が個別支援計画を策定し、利用者・サービス管理責任者・看護師・栄養士・生活支援員で定期的にモニタリングを行い利用者及び保護者の意向を伺い、同意のもと支援を行った。また、身体機能の低下や入院等状況の変化により随時モニタリングを行い個別支援計画の見直しを行った。

【総括】

利用者会議を毎月開催し利用者からの意向を伺い、日常生活(献立、設備不具合、利用者間のトラブル等)に関する内容から各種行事内容やイベント参加等、希望内容の実現に向けて支援を行った。また、利用者個々の要望を伺い日用品の買物やレクリエーション(映画、ボーリング、散髪等)は、個別園外活動(生活介護でも対応)で支援を行った。

余暇支援として、土曜日の午後(13:30~14:30) 歩行、軽スポーツ、カラオケ、各種競技会練習を中心に利用者の自由選択で実施した。障害者スポーツ大会・ソフトボール大会・バレーボール大会・ボーリング大会等へ積極的に参加し施設間での交流を深めた。

身体機能や筋力の低下に伴う転倒事故があるため、要支援者への移動等には1対1の支援を心がけた。また、支援者側の事故防止への意識向上に取り組んだ。

各フロア洗面所、食堂前手洗い場を車椅子対応の改修工事を行い、より快適に利用して頂いている。また、第三者評価で指摘があったトイレの扉についても一部改修を行い、プライバシー保護に努めた。

生活介護（定員 75 名）

サービス管理責任者 中野利子・祖母谷洋子

日中活動班として、1F 男性フロア利用者のひまわり班・1F 女性フロア利用者のコスモス班・2F 男女フロア利用者のおはな班（生産活動班）の3班編成で活動を行いました。

生産活動で出来た製品は、大洲市等の行政機関や地域の方々からの草花苗や野菜・木工加工品等の注文を受けて販売し、また施設内行事の「桃太郎工房祭り」「家族の日」、地域行事の「柳沢のホテルまつり」「大洲隣保館まつり」「福祉と健康づくり市民の集い」「肱北公民館ロビー展」等での販売活動を行い、地域の方々と交流を図りました。

年間活動で得た収益は、一人当たり約 6,200 円を（前年 5,227 円）工賃として支給することが出来ました。

ひまわり班・コスモス班

【利用者数】 ひまわり班：18 名（3 月 31 日現在）

（9 月に 1 名がおはな班に移動し、1 月に 1 名が退所されました。）

コスモス班：18 名（3 月 31 日現在）

（5 月・7 月に 2 名が退所し、12 月に 1 名がおはな班から移動しました。）

【支援員】 ひまわり班：◎富士耕一・谷山洋二・西川勝典・石間明彦・白石亮・角藤昭文・上満眞文

コスモス班：◎高橋系子・大野尚美・伊藤聖美(6 月より勤務)・梶谷富美庫・西村由美・宮岡美涼・二宮富子

【支援内容】

① 日常生活支援

- ・日課の中で検温、必要者に応じて血圧測定を行い、健康確認を行いました。定期的にトイレへの誘導を行い、排便状況を看護師に報告し、便秘者には緩下剤・坐薬などの使用を行って排便のコントロールを行いました。
- ・季節や気温に応じた服装を支援し、寝具の整えや洗濯後の衣類収納や整理、季節に応じた衣替えを行いました。
- ・健康に応じた食事内容を提供し、本人に合ったエプロン、器、スプーンを購入して自分で食事が行えるようにし、好き嫌いなく食事摂取が出来るように介助を行いました。
- ・入浴日には清潔な衣服の着用が出来るように準備を行い、洗体、洗髪の支援をし、身体に応じて特殊浴槽での入浴を行い、ゆっくりと楽しめるようにしました。

② 日中活動

- ・リズム運動やストレッチ運動を行い、機能訓練指導員により、個々の状況に応じた運動を支援し、機能低下防止に努めました。便秘症状の利用者には腹部のマッサージなどを行いました。身体状況、体調に応じて歩行器、車椅子、手すりを使用し、転倒して怪我をしないように安全な移動の支援を行いました。
- ・午前中は、環境整備として食堂や食堂前廊下の清掃を行いました。また、手拭タオルや入浴タオルのたたみを希望者で行いました。午後は天候や季節に応じて廊下やグラウンドで歩行運動を行い、またストレッチ運動を行って運動機能低下予防に努めました。
- ・毎月、専門講師の指導の下、手足を動かす運動、ボールや布を使用した運動・発声や口腔体操を行うスマイル体操に、ひまわり班の利用者 11 名・コスモス班の利用者 9 名が参加しました。

③ 園外活動

- ・利用者の要望を聞き、買い物や外食や散髪に行ったり、地域の行事に参加したりして、施設外での活動が楽しめるように計画を立て、実施しました。
- ・レクリエーションは、利用者の要望を聞き、グループに分かれて、エミフルでショッピングしたり、ディズニー・オン・アイスショー観劇に行ったりしました。12月の忘年会や3月のお花見は、感染症の為、中止しました。

【利用者の状況】

体力や運動機能の低下防止を重視し、機能訓練やリハビリ、歩行運動などを実施しましたが、健康状況、身体状況より歩行器や車椅子を使用する利用者が増えました。

体力低下や抵抗力低下のため、怪我や感染症に罹患する方も多くなり、健康管理が重要となってきています。

【総括】

利用者個人の状況に差異はありますが、活動時には音楽を聴いてリラックスして過ごせる環境作りを行いました。生活支援の中で、体調把握をし、排便コントロールを看護師と連絡を取りながら対応し、機能低下防止を図り、元気で過ごす事を優先に支援しました。

おはな班

【利用者数】 29名～男性 16名・女性 13名

(9月にひまわり班から1名、12月にコスモス班から1名が移動しました。)

【支援員】 ◎山本隆二・水本百合子・菊池潤一・岩津哲也・松本直美
天野 愛・松丸弘史・大野トモエ・猪野木正彦・花見祐樹
福西なぎさ

【支援内容】

利用者の状況に応じて3班に分かれて活動支援を行いました。

- ① 農業活動～玉ネギ、サツマイモを栽培し植え付けから施肥、除草、収穫、販売準備等を支援しました。

木工活動～ベンチ各種、本棚等の注文を受け主にペーパー掛けや組み立て等の支援を行いました。

- ② 園芸活動～花苗（マリーゴールド、日々草、ベゴニア、コリウス、パンジー、ビオラ）の生産に向けて、播種、土作り、ポット取り、施肥、水やりなどの管理を手順に沿って支援しました。また、花壇の手入れや除草など草花栽培が楽しめるよう支援し、冬場は屋内での活動を増やし、屋内でポット拭きやストレッチ、軽運動をして運動不足の解消に努め、施設内清掃も取り組みました。

- ③ 機能訓練活動～年間を通して午前中はリズム体操と個別に作成した機能訓練メニュー（身体をほぐすストレッチ、手足のマッサージ、ボール運動など）に沿って支援を行いました。午後は主に歩行運動、創作活動（壁画アート、塗り絵、牛乳パックハガキ作り等）、レクリエーション（風船バレー、サッカー、ボーリング等）を実施しました。また講師の出勤時にミュージックケアや毎月1回外部講師を招いての「スマイル体操」実施して手足の運動、口腔体操を実施しました。

- ④ レクリエーション～利用者の希望を事前に聞いて話し合いを持ち計画に基づいて実施し、リフレッシュすることができました。

- ・11月～「イオンモール今治新都心」での食事・買い物等
- ・2月～「山善」で新年会

【利用者の状況】

健康管理には十分注意をし、各自の能力に応じて無理のない活動を行い、活動場所への移動支援や感染症予防にも気を付けて手洗いやうがい等の支援を行いました。

施設内でのインフルエンザ等体調不良に罹る利用者さんが多く出て、フロア及び居室等の清掃に十分な時間をかけて感染の拡大を防ぐよう支援しました。

【地域交流】

南予地方局、大洲市役所、地域行事販売、施設内での行事販売等を行いました。また、地域の方々と販売等を通じて交流を深め、活動意欲が高まりました。

【総括】

事業計画に沿って活動を行いました。利用者の高齢化から今まで出来ていたことが難しくなっている状況もあり、今後は利用者のニーズに合った活動内容や支援内容の見直しを行う必要があると感じました。

入浴は、男女共に週4回の実施する。利用者の体力及び機能低下や高齢化に伴い、安全に対するリスクを軽減するため夜間は中止し、日中のみの入浴に変更

して実施した。

車椅子や歩行器を使用されている方を中心に、現在、男性7名・女性13名が車椅子で入れる特殊浴槽での入浴を行っている。この1年で特殊浴槽の利用者が2名(男性1名女性1名)増えており、介助度も徐々に上がっているため継続してきた日曜日の男女全員(83名)の入浴が時間的に困難状況になった。

苦情解決及び対応

受付日	受付者	種別	苦情・希望内容等	対応
6月9日 (木) サービス相談日	第三者 委員	設備修理	居室の戸がきついで修繕して欲しい。(1F男性利用者)	同日に潤滑剤を使用して戸の滑りをよくする。本人さんに確認して頂き了承を得る。
6月9日 (木) サービス相談日	第三者 委員	設備修理	居室の戸がきついで修繕して欲しい。(1F女性利用者)	同日に潤滑剤を使用して戸の滑りをよくする。本人さんに確認して頂き了承を得る。
8月15日 (月)	職員	短期入所利用時の保護者への連絡について	短期入所利用に関する保護者印鑑持参を連携して利用する他事業所職員へ保護者来所の際に連絡を依頼。	印鑑持参を依頼した事業所へ謝罪し、今後改め保護者へ直接連絡することを周知する。
8月17日 (水)	職員	職員の対応について	臨時給付金については園で申請して欲しい。対応した職員の態度が不適切である。	園で申請できる事をお伝えする。職員の不適切な対応を謝罪する。
9月14日 (水) サービス相談日	第三者 委員	食事前のヤカン設置	食事前にはお茶のヤカンをテーブルに置いて欲しい。	テーブルの同席者に食器等を投げる利用者がおられるので、テーブルの皆さんが揃われてからヤカンを置くことでした承される。
9月14日 (水) サービス相談日	第三者 委員	支援員の行動	特定男性支援員が就床後居室に来て口うるさい。	申し立て人と同室利用者に確認すると、その様な状況は無く間違いであったとの事であった。
9月24日 (土)	職員	夜勤者の態度	洗面、歯磨き中に夜勤者から「早くしなさいよ。」と言われ手でおされた。	対象職員から謝罪と今後注意することでした承を得る。
10月4日 (火)	職員	短期入所利用時の支援(保護者より)	短期入所利用時に利用者がグラウンドに出ている支援員の対応がない。葉、土等の異食への注意がなかった。	継続して対応している事をお伝えし、これからは利用状況を連絡帳等でお伝えすること。安心して利用できる環境作りに努めることで両親とも納得される。
3月15日 (水) サービス相談日	職員	夜間のケアに対する夜勤者への不満	特定の支援員は宿直して欲しくない。	特定された支援員と内容を確認し、改善することで、利用者納得される。
3月22日 (水)	職員	いじめられてはいないか。(保護者より)	帰宅時に他利用者から辛い言動を受けているのではないか。確認して欲しい。	利用者本人から内容を伺うことができ、直ぐに注意改善を行い保護者へ報告。今後も注意支援を継続することでした承を得る。

*サービス相談日を、年4回(6月9日、9月14日、12月13日、3月16日)実施し、第三者委員(伊賀氏, 中野氏, 小澤氏)の方が利用者の相談に対応していただきました。また、第三者委員の方と自由に様々な会話を楽しまれました。また、毎月フロアごとに利用者会議を開催し、利用者話し合いを行い思いを伺いました。

*苦情の内容・解決等については、広報誌「つばさ」に載せて情報を公開しました。

*虐待防止研修会に出席した職員から、その内容を3月職員会を通して全職員へ周知しました。

実施行事

月	施設行事	関係機関行事	地域行事
4	4日(月) お花見 施設周辺にて各班に分かれて実施		16日(土) 坊ちゃん球場7 th 野球観戦「ヤクルトVS横浜DENA」4名参加
	9日(土) 家庭の日(保護者の会総会) 保護者42名参加		
	24日(日) 誕生会・利用者会議		
5	29日(日) 誕生会・利用者会議	7日(土) 南予福祉施設会ソフトボール大会 野村町運動公園 選手13名・応援4名参加～2戦2敗	
		22日(日) 第11回愛媛県障害者スポーツ大会 愛媛県総合運動公園選手24名・応援3名参加～1位6名・2位3名・3位1名	
6	2日(木) 大掃除(ワックスがけ)	5日(日) 愛媛県障害者ホーリング大会 松山中央ホール 選手5名参加～2位1名・3位2名	4日(土) 柳沢ほたるまつり3名参加
	19日(日) 家庭の日(平成27年度事業報告・各班の活動見学・会食・個別懇談) 保護者56名参加	11日(土) 南予福祉施設会レクリエーションバレーボール大会 吉田町ふれあい運動公園健康センター体育館 選手5名参加～2敗	5日(日) 「530」(コスプレ)運動 7名参加
	26日(日) 誕生会・利用者会議	15日(水) 第36回福祉のつどいソフトボール大会南予地区大会 野村町運動公園 選手13名・応援9名参加～2回戦負け	27(月) 参議院議員通常選挙期日前投票82名参加
7	1日(金) 開園記念日(式典・会食) 98名参加		20日(日) 大洲市一斉掃除 7名参加
	24日(日) 誕生会・利用者会議		21日(木) 水天宮花火大会 15名参加 23日(土) 大洲学園夜市盆踊大会 20名参加
8	6日(土) 桃太郎工房夏まつり「絆・きずなを大切に」グラウンドで実施 地域の方々、保護者57名参加		3日(水) 大洲川まつり花火大会15名参加
	28日(日) 誕生会・利用者会議		9日(火) 大洲幸楽園納涼祭3名参加
9	15日(木) 園内敬老会(70歳以上の利用者5名を祝う) 91名参加	24日(土) 大洲市障がい者親善ソフトボール大会大洲学園グラウンド 選手11名・応援10名参加～準優勝	
	28日(水) レクリエーション「松前エミルショッピング」13名参加		
	25日(日) 誕生会・利用者会議		
10	4日(火) レクリエーション「松前エミルショッピング」13名参加	18日(火) 大洲市障がい者スポーツの集い 大洲市総合体育館45名参加	
	11日(火)～12日(水) レクリエーション「レオワールド・小豆島1泊2日」20名参加	15日(土) 南予福祉施設会福祉まつり(ウォークラリー) 鬼北町奈良川河川敷 21名参加	
	28日(金) レクリエーション「坊っちゃん劇場観劇」15名参加	20日(木) 第34回ゆうあいスポーツ四国・よさこい(こっち)こい大会高知県立春野総合運動公園18名参加	
	23日(日) 誕生会・利用者会議	30日(金) ゆうあいスポーツ四国・えがおの愛媛大会 西条市ひうち陸上競技場 選手16名参加～金メダル5名・銀メダル4名・銅メダル2名	
11	15日(火)～16日(水) レクリエーション「宮島・みろくの里1泊2日」12名参加		13日(日) 「福祉と健康づくり市民のつどい」大洲市総合福祉センターにて(販売) 4名参加
	21日(月) 大掃除(ワックスがけ)		20日(日) たいら文化祭販売2名参加
	27日(日) 誕生会・利用者会議		26日(土) 竹内雅子さんの慰問ボランティアで歌や踊りを披露
	29日(火) レクリエーション「宝塚松山公演観劇」ひめぎんメインホール8名参加		

12	18日(日) 誕生会・利用者会議		4日(日) 一歩会餅つき 一歩会15名来園、餅米54kgを搗く。
	21日(水) 園内クリスマス会(各日中活動での出し物・新任教員のアトラクション・会食) 95名参加		21名(水) 大洲喜多法人会よりクリスマスケーキのプレゼント
	26日28日門松作り		
	30日(金) 正月飾り取付		
1	29日(日) 誕生会・利用者会議		1日(日) 一之宮神社初詣9名参加
2	3日(金) 節分(豆まき)各班にて実施		4日(土) 今坊公民館・友愛館大会販売5名参加
	28日(火) 家族交流会・講師: 黒江雄一氏による「障害者の人権擁護と自己決定」の講演 地域の方や保護者41名参加		
3	3日(金) ひな祭り96名参加		12日(日) 肱北公民館ピザ展販売8名参加
	26日(日) 誕生会・利用者会議		25日(土) 大洲りんぼかんまつり販売3名参加
	31日(金) 退職者(2名) とのお別れ会		

- ・家族交流芋炊き、イルミネーション、大洲学園との交流会は、感染症発症の為中止しました。
- ・毎月第2月曜日に「カトスジオひらた」さんによって、希望者が園内で散髪を受けました。
- ・毎月の利用者会議の中で誕生会を行い、季節の菓子を頂きながら祝いました。

(1) 給食状況(食数)

	検食時間	検食者	喫食時間	生活介護	就労	センター	短期入所	日中一時	計
朝	7:30	夜勤・宿直者	7:45	29,832	0	0	745	2	30,579
昼	11:30	施設職員	11:45	25,354	4,412	2,555	841	143	33,305
夕	17:30	夜勤・宿直者	17:45	29,830	0	0	832	58	30,720
計				805,16	4,412	2,555	2,418	203	94,604

(2) 調理従事者

管理栄養士	調理員	計
1名	6名	7名

(3) 給与栄養目標及び給与量

栄養素	基準値	給与量	栄養素	基準値	給与量
エネルギー	1,900kcal	1,887kcal	ビタミンB2	1.19mg	1.32mg
たんぱく質	64.0g	69.4g	ビタミンC	100mg	150mg
脂質	48.0g	43.7g	食物繊維	19.0g	15.0g
炭水化物	304.6g	297.1g	食塩総量	7.6g	7.8g
カルシウム	1,100mg	1,136mg	炭水化物エネルギー比率%	64%	64%
鉄	18.0mg	17.2mg	脂質エネルギー比率%	23%	21%
ビタミンA	798 μ g	682 μ g	たんぱく質エネルギー比率%	13%	15%
ビタミンB1	1.03mg	1.84mg			

(4) 食品構成及び給与量

食品群		構成値(g)	給与量(g)	食品群		構成値(g)	給与量(g)
魚介類	生	55g	52.3g	いも類	いも類	50g	31.3g
	干物・乾物・塩蔵	8g	10.8g		いも加工品	5g	4.3g
	練製品	10g	9.3g	果実類	果実類	60g	51.3g
肉類	肉類	60g	72.6g		加工品	5g	0.8g
	加工品	10g	10.4g	穀類	米	250g	240.4g
乳・乳製品	牛乳	180g	181.9g		パン	25g	22.5g
	乳製品	65g	64.8g		めん類	25g	27.6g
卵類		25g	29.0g		その他の穀類	2g	1.8g
野菜類	緑黄色野菜	160g	152.5g	豆類	大豆・その他の豆	5g	0.8g
	その他の野菜	200g	219.4g		大豆製品	40g	40.9g
	乾燥野菜	5g	2.3g	油脂類	油脂類	10g	6.9g
	野菜漬物	2g	1.2g	調味料	調味料	180g	177.4g
きのこ類		30g	23.5g	砂糖及び甘味料		10g	10.3g
藻類		3g	1.7g	その他の食品		100g	113.0g
種実類		2g	1.3g	菓子類		5g	1.9g

(5) 食事形態(重複あり)

一般食	人数	特別食	人数
普通食(特大)	8名	減塩食	14名
普通食(大)	32名	減量食	24名
普通食(小)	13名	アレルギー食	1名
		刻み食	46名
		軟飯・おかゆ食	6名

(6) 行事食

実施月日	行事	内容	実施月日	行事	内容
4月4日	お花見	お花見弁当	12月31日	大晦日	年越しそば
5月5日	端午の節句	柏餅	1月1日～3日	元旦	おせち料理 お雑煮
7月1日	開園記念日	記念日メニュー	1月6日	七草粥	七草粥
7月7日	七夕	七夕メニュー	2月3日	節分	巻きずし
8月13日	お盆	おはぎ	2月14日	バレンタイン	チョコワッフル
12月4日	餅つき	餡餅	3月3日	桃の節句	ちらしずし
12月21日	クリスマス会	クリスマスメニュー クリスマスケーキ	3月20日	春分の日	ぼた餅
12月29日	忘年会	鍋料理			

(7) 食中毒防止対策

- ・調理従事前の手洗いの徹底
- ・喫食2時間前調理の実施
- ・月1度の検便の実施(赤痢、サルモネラ、0-157、ノロウイルス)
- ・調理後の食品は適切な温度管理のもと保管
- ・調理場の定期的な清掃と業者による害虫駆除
- ・原材料の適切な下処理・洗浄(場合により消毒)
- ・加熱調理食品の十分な加熱(中心温度85℃～90℃で1分半以上の加熱)
- ・調理従事者の毎日の健康チェック

(8) 栄養ケア・マネジメントの実施

利用者84名対象に個別支援計画の一環として栄養ケア・マネジメントを実施しました。ケア計画作成のため、利用者・サービス管理責任者・看護師・管理栄養士・生活支援員で定期的にモニタリングを行い利用者及び保護者の意向を伺いました。また、利用者の身体・食事状況に問題が生じた際にはケア計画を見直し、作成し直しました。

(9) ヒヤリハット・アクシデント報告

ヒヤリハット・アクシデント報告を実施しました。

実習生・ボランティア受け入れ

月 日	学校・団体名	内 容	参加者
6月20日(月) ～24日(金)	県立宇和特別支援 学校高等部	前期現場実習	1名・担当先生
7月7日(木) ～8日(金)	平野中学校	福祉交流体験	3年生3名
8月6日(土)	ボランティア	桃太郎工房夏祭	学生・一般11名
10月26日(水)	大洲平小学校	交流会 (事業説明、施設内見学)	5年生38名 引率教員2名
9月27日(火)	大洲北中学校	福祉施設体験実習	3年生3名
9月29日(木)	大洲北中学校	福祉施設体験実習	3年生3名
9月30日(金)	大洲北中学校	福祉施設体験実習	3年生2名
10月17日(月) ～21日(金)	県立宇和特別支援 学校高等部	後期現場実習	1名・担当先生
11月17日(木)	大洲平小学校	交流会(日中活動参加)	5年生38名 引率教員2名
11月26日(土)	ボランティア	趣味の披露	1名
12月6日(火)	大洲平小学校	交流会 (イルミネーションの飾り付け)	5年38名 引率教員2名
12月4日(日)	一步会	交流会(餅つき)	15名
12月21日(水)	大洲喜多法人会	交流会(クリスマスケーキプレゼント)	6名

保 健 医 療

看護師 岡崎早苗

利用者の健康状態を生活のあらゆる機会を通して看護師が把握に努めました。

また、健康診断や日々の健康状態において病気の早期発見に努め、異常等の問題が発生した場合は、早急に医療機関と連絡をとり、通院治療・入院治療を行いました。また、園内で処置ができる場合は、病気の治療・予防等を行いました。また、近年利用者の高齢化により、機能等の低下が目立ってきています。認知症と診断された方6名（27年度4名）車いす使用者17名（27年度11名）歩行器利用者7名（27年度6名）エアマット使用者5名（27年度1名）となっています。高齢者対応の介護を必要とする利用者の増加に伴い、支援の内容も拡大してきており、今後の課題となっています。

○ 健康診断

- ・第一回＜愛媛県総合保健協会＞（7月8日） 82名実施。約45名の方が要精検の指示あり。
- ・第二回＜喜多医師会病院＞（10月11日～12月20日） 83名実施。25名の方が要精検の指示あり。年2回の健康診断を行い、結果についてはかかりつけの医師に相談しながら、要精検者については必要に応じて二次検査等を進め治療を行う。

○ 歯科検診＜愛媛県歯科巡回診療＞（6月9日） 84名実施。9名治療（歯石除去受ける。）

虫歯のある方が35名有り、そのうち19名が通院治療を受け10名治療終了となる。

○ 感染症発症について

3/31～4/22にインフルエンザB型に入所者18名、職員3名罹患し4/1感染症対策委員会実施。

9/9～10/19にアデノウイルス感染性結膜炎に利用者8名罹患し9/5、9/15、10/5、10/19と感染症対策委員会実施。11/27～12/6にインフルエンザA型に利用者7名、職員1名罹患し11/28、12/7、感染症対策委員会実施。2/27～3/30にインフルエンザA型に利用者15名、職員5名罹患し、3/1、3/13に感染症対策委員会を開き対策の見直しを行い、蔓延しないように感染症対策を継続中。

○ 予防接種

- ・インフルエンザ予防接種（12月2日・12月7日）82名実施。
- ・肺炎球菌感染症予防接種＜大洲市による高齢者の今年度該当者＞（10月19日）8名実施。

○ 運動機能訓練について

- ・今年度は、運動機能訓練指導員の看護師がフロアから医務室へ異動になる。直接的な訓練を行えないためモニタリング毎に個別訓練内容を指示する。
- ・運動機能低下予防のため、健康運動指導士の蒔智子氏によるスマイル体操を毎月1回実施する。毎日の日中活動・余暇の時間等で体操等取り入れて、機能低下予防に取り組んだ。

○ 通院状況

定期的に通院を実施し、投薬、処置等するとともに、日々の生活の中において個別に食事療法、適度な運動、日光浴（外気浴）等、疾病の予防に取り組む。

○ 入院状況

延べ19名（実人員14名）が入院治療をしましたが、特に肺炎での入院者が多かった。（肺炎、インフルエンザ肺炎、気管支肺炎、誤嚥性肺炎、イレウス、症候性てんかん、脳梗塞、右下肢静脈血栓症、硬膜外血腫手術、直腸ポリープ摘出、肝内胆管癌の手術、ペースメーカー電池交換、尿路感染症他、）

(1) 防火安全対策

① 消防設備等の状況

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (3ヶ所) ・無
	避難口 (非常口)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
	居室・廊下・階段等の内装材料	—	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	防火戸・防火シャッター	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	有 (2ヶ所) ・無
消防用設備	屋内消火栓設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	有 (5ヶ所) ・無
	屋外消火栓設備	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 (ヶ所) ・無
	スプリンクラー設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	自動火災報知設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	非常通報装置	—	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	漏電火災警報器	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	非常警報設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	避難器具 (すべり台・救助袋)	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 (ヶ所) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	誘導灯及び誘導標識	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (32ヶ所) ・無
	防火用水	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	非常電源設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
カーテン・布製ブラインド等の防火性能		有	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

② 緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システムの設置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	緊急時連絡網等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
-------------	---	--

③ 消防設備の保守点検の状況

業者委託による点検	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2回) ・ <input type="checkbox"/> 無	実施者
自主点検	点検項目	消火器・自動火災報知機
		屋内消火栓設備
		誘導灯・スプリンクラー
		非常通報装置
		建物等・火気使用設備
		カンコー防災

④ 消防署の立入検査の実施

実施年月日	指導指示等の内容
平成28年10月26日 [文書] なし	<p>[口頭] ①非常ベルが鳴ってから、7分で全員が避難出来ており、時間的には良好である。</p> <p>②1F男性の職員、避難誘導等、素早く実施できていた。最初は大きな声で指示していたが、最後は出来ていなかった。1F女性職員は館内放送後、30秒から40秒で消火器を使用し初期消火を行っていた。大きな声で指示が出来ていた。</p> <p>③2F女性職員は車椅子を支援しながら、居室確認、避難済みプレートを操作していたため途中、一か所忘れそうになったが、思い出し実施出来ていた。</p> <p>④1F男性フロアで混雑し、車椅子同志ぶつかりそうになった。職員間で声を掛け合い支援して下さい。</p> <p>⑤一度、利用者さんの居室を出火場所に想定し、避難訓練を実施してはと指摘がある。</p> <p>[上記に対する改善措置]</p> <p>①利用者、高齢化に伴い歩行困難者が増えており、職員協力体制で避難、誘導を行っている。特に、職員同士の声の掛け合いについては大きな声で、的確な指示を行うように周知している。</p> <p>②H29年度事業計画、10月・総合訓練で夜間、利用者居室から出火を想定し実施する予定。</p>

⑤ 消防計画及び防火管理者の届出状況

消防計画の消防署への届出（直近）	平成 29年 4月 18日	
防火管理者氏名	西川勝典	（職種） 生活支援員

⑥ 火災発生時の消防機関への通報体制

日中は、火災発見した職員若しくは自火報発報後に、119番通報ボタンを押す。
夜間は、夜勤者4名体制です。1階男性夜勤者が119番通報ボタンを押す。

⑦ 火災発生時の職員動員体制

自衛消防組織編成表に基づき、通報・連絡、避難、誘導、消火、搬出、救護に分かれる。

⑧ 夜間防火管理体制

夜間は、夜勤者4名体制で、1階男性夜勤者が隊長となる。

⑨ 近隣住民、近隣施設との協力体制

地域の方、老人ホーム清和園、大洲学園へ協力依頼する。

⑩ 防災訓練の実施状況

区 分	実施回数	消防署への 事前届出	消防署の 立会い	訓練記録
避難訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有 3 回 <input type="checkbox"/> 無 () 回	<input checked="" type="checkbox"/> 有 1回 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 1回 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
救助訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有 2 回 <input type="checkbox"/> 無 () 回	<input type="checkbox"/> 有 回 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 回 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
通報訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有 2 回 <input type="checkbox"/> 無 () 回	<input checked="" type="checkbox"/> 有 2回 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 2回 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
消火訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有 2 回 <input type="checkbox"/> 無 () 回	<input checked="" type="checkbox"/> 有 2回 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 2回 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

(注) 1 総合訓練は、それぞれの区分に従って記入する。

() 書は、夜間又は夜間を想定した訓練を再掲する。

(2) 地すべり防止危険区域等土砂災害等による災害対策

① 危険区域の指定の有無 (有・無)

(指定区域名：土石流 溪流番号207-1070 207-1071 溪流名西岡川、神宮東川 所在地 大洲市平坂)

② 災害発生時の避難計画の有無 「有」の場合計画名を記載

有 大洲育成園 防災計画

③ 災害発生時の職員動員体制

非常招集連絡表により連絡、召集する。

④ 近隣住民、近隣施設との協力体制

地域の方、老人ホーム清和園、大洲学園へ協力依頼する。

⑤ 想定される災害に対する訓練の実施状況

区 分	実施回数 (うち夜間)	—	—	訓練記録
土砂災害	<input checked="" type="checkbox"/> 有 1 回 日中想定 () 回 <input type="checkbox"/> 無	—	—	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

() 書は、夜間又は夜間を想定した訓練を再掲する。

(3) 地震・津波災害対策

① 施設の耐震対策

耐震化診断の 受検状況	済	※新耐震基準の適合状況 (☑適・不適)	耐震補強の予定 (有・ ☑無)	福祉避難所の指定 (有・☑無)
----------------	---	---------------------	--------------------	--------------------

※建築物の耐震改修の促進に関する法律第7条第2項に規定する建築物

② 危険区域の指定の有無 (□有・☑無) 「有」の場合(指定区域名:

③ 地震・津波発生時の避難計画の有無 「有」の場合計画名を記載

有 大洲育成園防災計画

④ 地震・津波発生時の職員動員体制

※火災・災害時と同様です。

⑤ 近隣住民、近隣施設との協力体制

地域の方、老人ホーム清和園、大洲学園へ協力依頼する。

⑥ 想定される災害に対する訓練の実施状況(前年度)

区 分	実施回数 (うち夜間)	消防署への 事前届出	消防署の 立会い	訓練記録
地震・津波	☑有 日中想定 □無 1回	□有 () 回 ☑無	□有 () 回 ☑無	☑有・□無

(4) 職員への防災教育

4月に自衛消防組織編成表・安全点検責任者配置表等作成し、全職員に対して、各自の役割分担及び責任の周知、火災予防上必要な事項について説明しました。7月には大洲消防署の職員1名、来園していただき、防災教育として(心肺蘇生法、AEDの使用法)について講習を受けた。

(5) 重度者への防災上の配慮

施設1階については、重度棟設備(防火区画)となっており、防災扉等の設備がある。

(6) 災害時に必要な備品・食料の備蓄の有無(☑有・□無) (6日分)

(7) 原子力災害対策

① 原子力災害重点区域の該当の有無

☑有 [□PAZ(予防的防護措置を準備する区域) ※原子力施設を中心として概ね半径5kmの地域
☑UPZ(緊急時防護措置を準備する区域) ※原子力施設を中心として概ね半径30kmの地域からPAZを除いた地域]
□無

② 災害発生時の職員動員計画や緊急連絡体制

※火災・災害時と同様です。

③ 市町や他の類似施設、地域の自主防災組織との協力体制

地域の方、老人ホーム清和園、大洲学園へ協力依頼

④ 想定される災害に対する訓練の実施状況

区 分	実施回数 (うち夜間)	—	—	訓練記録
原子力災害	☑有 1回 () 回 □無	—	—	☑有 □無

() 書は、夜間又は夜間を想定した訓練を再掲する。

(8) 災害時に必要な備品・食料の備蓄の有無(☑有 □無)

「食料有」の場合(6日分) 内容(水、缶詰、レトルト食品等)

(9) 福祉避難所の指定の有無 (□有 ☑無)

(10) 事業継続計画(BCP)の策定の有無 (□有 ☑無)